



ARTCOURT Gallery

Yagi Art Management, Inc.
OAP ARTCOURT 1F 1-8-5 Tenmabashi Kita-ku Osaka 5300042 JAPAN

Art Court Frontier 2012 #10 展覧会開催のご案内

関西の新鋭作家が競演するアニュアル企画「Art Court Frontier(アートコートフロンティア)」の第10回記念展。

本展は、美術界の第一線で活躍中のアーティスト、キュレーター、アートライター、ジャーナリストらが推薦者となり、今後の活躍がますます楽しみな作家を1名ずつ推挙して、ともに展覧会をつくり上げてゆくグループ展です。

今回は、国内外での展覧会・レジデンスプログラムに精力的に参加し、観賞者を取り込む立体作品で“新しい世界の使い方”を提案する東明(推薦:中井康之)、自ら染色した結束バンド等を使用し、ユニークな造形をつくり出す國政聡志(推薦:加須屋明子)、旧赤線地帯を取材し、当時の記憶・歴史をアートの文脈で捉え、提示する高田智美(推薦:手塚さや香)など。第10回という節目に相応しく、力強い輝きを放つ作品が意気揚々と並びます。フロンティア作家たちの輝き、「関西の現在」を、ぜひお見逃しなく!

また、開廊記念展としてスタートした本展と共に、アートコートギャラリーも10年目を迎えます。時の最先端をゆく、或いはいつまでも揺るぎない、魅力溢れる作品と出会うことのできる豊かな場の創出を目指し続けます。新人作家の登竜門以上の位置づけを担い、「関西でなければ見られない”好企画シリーズの展覧会として、本年もまた「アートコートフロンティア」展にどうぞご期待下さい。(※敬称略)



(左から)上段 | アサダワタル、國政聡志、mariane、神馬啓佑、東明 下段 | 藤部恭代、高田智美、真坂亮平、桜井類、花岡伸宏、田辺由美子

【展覧会概要】

展覧会タイトル: Art Court Frontier 2012 #10

会 期: 2012年7月13日(金)～8月11日(土) *日・月休廊

会 場: アートコートギャラリー 大阪市北区天満橋1-8-5 OAPアートコート1F

開廊時間: 11:00～19:00 (土曜日は～17:00)

出展作家: 推薦者11名による推挙により各1作家,計11作家を選出 *別紙参照

レセプション: 7月14日(土) 16:00～18:00

ギャラリートーク: 7月14日(土), 21(土)… 両日とも14:00～16:00 [出展作家によるプレゼンテーション+推薦者とのディスカッション]

*参加費500円(ドリンクサービス有、要予約)

◆アサダワタル企画イベント *各イベントの詳細はWEBサイトにてご確認ください。

◇7月28日(土), 8月11日(土) 記憶を辿る音楽鑑賞トークサロン「私が想像する棚」

…テーマに基づき、CDを聴きながらその音楽にまつわる記憶を語り合うサロン。テーマは「借りパク」。

◇8月4日(土) トークショー アサダワタル×田中恒子(住居学者、美術コレクター)

…活動を広めている「住み開き」や、本展出品作のコンセプトにも共通する「日常を編集する」ということを語る。

主 催: アートコートフロンティア展開催実行委員会、アートコートギャラリー

協賛・協力: ターナー色彩株式会社、三菱地所株式会社、三菱マテリアル株式会社、株式会社三菱地所プロパティマネジメント 他

※ビジュアル資料ご希望の方は、お気軽にお問合せ下さい。

お問い合わせ: アートコートギャラリー (八木・灰田) 〒530-0042 大阪市北区天満橋1-8-5 OAPアートコート1F

E-mail: info@artcourtgallery.com URL: www.artcourtgallery.com TEL: 06-6354-5444 FAX: 06-6354-5449

Art Court Frontier 2012 #10

出展作家および推薦者リスト [作家五十音順、敬称略]

出展作家／作品ジャンル	推薦者
アサダワタル 音楽・日常再編集	森 司 東京歴史文化財団
國政聡志 立体、インスタレーション	加須屋明子 京都市立芸術大学 准教授
桜井 類 絵画、ドローイング	藤本由紀夫 アーティスト
神馬啓佑 絵画、インスタレーション	ヤノベケンジ アーティスト
高田智美 平面、インスタレーション	手塚さや香 毎日新聞 記者
田辺由美子 立体、インスタレーション	池上 司 西宮市大谷記念美術館
花岡伸宏 立体	小林 公 兵庫県立美術館
東 明 立体	中井康之 国立国際美術館
藤部恭代 平面、油画	加藤義夫 加藤義夫芸術計画室
mariane 絵画	小吹隆文 アートライター
真坂亮平 インスタレーション	天野一夫 豊田市美術館

アサダワタル

ASADA Wataru

1979 大阪府生まれ
 2002 大阪市立大学法学部 卒業
 1999年より越後屋、大和川レコード、SJKなど様々なユニットでライブ、CDリリース、映画・CMでの楽曲演奏を展開しつつ、「音」から「場・事」に表現を拡張。2004年より「日常再編集」というコンセプトで、アートプロジェクトの演出を各地で手がける。
 | 最近の活動 |
 2009 「Animaoy」SJK(HEADZ/cubicmusic)、CDリリース
 2010 「八戸の棚Remix!!!!!!!」青森県、滞在制作
 2012 「住み開き 家から始めるコミュニティ」筑摩書房、単著執筆

推薦者

森 司

東京歴史文化財団

◎ACF2012: 「音楽」を使用し、日常を編集する。「誰かから借りたまま返すことができなかつた／貸したまま返ってこなかつたCD」を多数の人から集め、そこに宿る記憶を辿る。前述の条件でCDが会期中に揃えば、対談形式でそれぞれの想いを語るなどし、音楽の解釈の仕方を可視化する。



音楽CDとその個人記憶にまつわる対話型ワークショップ
 「あなたの音楽を傾聴します」@渋谷ギャラリーレールデコ東京

國政聡志KUNIMASA
Satoshi

1986 大阪府生まれ
 2010 京都精華大学芸術学部デザイン科テキスタイルデザイン 卒業
 2012 京都市立芸術大学大学院美術研究科修士課程工芸専攻染織 卒業
 | 主な展覧会 |
 2011 「ものうみアクアート」SUZUKIギャラリー、京都
 「Out Of The Loop」@KCUA、京都
 「Colors Of KCUA」@KCUA、京都
 「Salad」むろまちアートコート、京都
 | その他 |
 AT PAPER(free paper)編集長

推薦者

加須屋明子京都市立芸術大学
准教授

◎ACF2012: 自ら染色した結束バンドや糸などを大量に用い、それらを組み合わせることで空間に配置してゆく。本展では、会場中庭の吹き抜けに作品を展開。



realize
 サイズ可変 / 2011
 結束バンド、糸、ポリロン染料

桜井類

SAKURAI Rui

1981 大阪府生まれ
 2011 京都造形芸術大学大学院博士課程 修了
 | 主な展覧会 |
 2011年 個展「透明と停止」CAP STUDIO Y3、兵庫

推薦者

藤本由紀夫

アーティスト

◎ACF2012: 身体の痕跡として描かれる作品は、絵画で何かを表現するのではなく、絵画そのものを表現する。本展では、大画面の新作を展示。



untitled 1
 606×727mm / 2011
 oil and acrylic on canvas

神馬啓佑

JIMBA Keisuke

1985 愛知県生まれ
 2009 京都造形芸術大学芸術学部美術工芸学科洋画コース 卒業
 2011 京都造形芸術大学大学院芸術研究科芸術表現専攻 修了
 | 主な展覧会 |
 2010 個展「神馬 啓佑展」2kw gallery、大阪
 「bodyとlanguage」gallery raku、京都
 2011 「渾變台日交流展 trans-plex」關渡美術館、台北

推薦者

ヤノベケンジ

アーティスト

◎ACF2012: ものや現象の表層が身体の一部になって消化されていく感覚と、それに蝕まれ薄れていく身体をテーマに制作。本展では、インスタレーションを展開予定。



home moving
 サイズ可変 / 2012
 ミクストメディア

高田智美

TAKATA Tomomi

1984 東京都生まれ
 2008 京都造形芸術大学芸術学部美術工芸学科染織コース 卒業
 2011 京都市立芸術大学大学院修士課程美術研究科工芸専攻 修了
 | 展覧会 |
 2009 個展「色褪せた問題」ギャラリーAOAO、京都
 2011 「閨秀2.0～複数のベクトルあるいはキャットファイト」CAVE、京都

推薦者

手塚さや香

毎日新聞 記者

◎ACF2012：旧「赤線地帯」をテーマに制作。後ろ暗い過去から、誰も記録せず忘れ去られようとしている歴史を繋ぎとめ、アートの文脈に落とし込み、提示する。



敵娯
 サイズ可変 / 2011
 petフィルム、インクジェットプリント、絹糸、タイル

田辺由美子

TANABE Yumiko

1972 神戸市生まれ
 2001 第17回ハンズ大賞 グランプリ受賞
 | 主な展覧会 |
 2007 「Wert～浮遊する価値～」夢創館、神戸
 2011 「After dish～皿の後～」應典院、大阪

推薦者

池上司

西宮市大谷記念美術館

◎ACF2012：繊細かつ緻密な、優美に広がる文様の一つ一つは、真っ白に塗装を施した鯛や鮓、鮪などの魚の骨。会場に合わせて設置するため、美しい文様は会期中にのみ立ち表れる。



bone constellations ~骨の星座~
 100 × 500 cm (可変) / 2011
 fish bone(white urethane paint), blue carpet

花岡伸宏

HANAOKA Nobuhiro

1980 広島県生まれ
 2006 京都精華大学大学院芸術研究科博士前期課程 修了
 | 主な展覧会 |
 2009 「第12回岡本太郎現代芸術賞展」川崎市岡本太郎美術館、神奈川
 「After School・放課後の展覧会」元立誠小学校、京都
 2011 個展「不在のための構成」ART SPACE ZERO-ONE、大阪
 2012 個展「入念な押し出し」ギャラリー恵風、京都

推薦者

小林 公

兵庫県立美術館

◎ACF2012：無関係なものを掛け合わせて同居させる立体作品は、日常の中で見覚えのあるモチーフを、まったく別の状況に展開し、本来の意味を崩壊させる。その衝撃は観賞者の思考回路を停止させる。



構成1
 85×50×45cm / 2011
 木、樹脂、画紙、桜エビ、他

東 明

HIGASHI Akira

1974 広島県生まれ
 1998 京都市立芸術大学美術学部美術科彫刻専攻 卒業
 | 主な展覧会 |
 2006 「Force of Nature」ノースキャロライナ州立大学シャーロット校、アメリカ
 2012 個展「空間の巣」プラザノース ノースギャラリー、埼玉
 | レジデンス |
 2011 「境谷小レジデンス」京都市立境谷小学校、京都
 2011 「ナイロビレジデンス2011」ケニア、ナイロビ

推薦者

中井康之

国立国際美術館

◎ACF2012：鑑賞者が身体で感じられる作品を制作。関わりあうことによって鑑賞者と作品を含む空間に命を与え、「新しい世界の使い方」を提案する。本展では、巨大パラシュートを制作予定。



ナイロビ・ビニールの円錐のパラシュート
 ビニール、布 / 2011

藤部恭代

FUJIBE Yasuyo

1979 京都府生まれ
 2004 京都造形芸術大学大学院 修了
 2006 第20回ホルベインスカラシッパ
 |主な展覧会|
 2008 群馬青年ビエンナーレ2008 奨励賞
 2009 「アトリエの音楽展」OZC Gallery、大阪
 2010 個展「ARABESQUE」Yoshiaki Inoue Gallery、大阪
 2011 「ヨッチャンビエンナーレ」de sign de >、大阪

推薦者

加藤義夫

加藤義夫芸術計画室

◎ACF2012:自身と同年代の女性が憧れる、理想的な美しさを描く。肖像と重なるレースは下地の上に施され、肖像を描いた後にマスクングが解かれる。その際に生まれる微細な剥落により、二つの世界に歪みをもたらし相互に関係させるという、彫刻的な過程を取り入れている。本展では、同シリーズの新作を展示予定。



ARABESQUE38
 116.7 × 116.7 cm / 2010
 oil, acrylic, canvas

マリアーネ

mariane

1982 ブラジル/サンパウロ生まれ
 2003 京都嵯峨芸術大学短期大学部イラストレーションコース 卒業
 |主な展覧会|
 2010 個展「食べる」studioJ、大阪
 個展「bom sonhos」artdish、東京
 「群馬青年ビエンナーレ」奨励賞受賞 群馬県立近代美術館、群馬
 2011 個展「um beijinho」itohen、大阪
 個展「ja dormiu?」gallery jin、東京
 個展「人肌」studioJ、大阪
 「shoes box ヨッチャンビエンナーレ」de sign de >、大阪
 2012 「蠱惑-巧術其之参」スパイラルガーデン、東京

推薦者

小吹隆文

アートライター

◎ACF2012:和紙を貼った画面に目を凝らすと、「そこにいる」。いきものたちは、作家自身に語りかけ、姿を現す。その姿は、美しさと奇妙さ、儂さと強さ、背徳感と安堵感といった、いのちの裏腹な要素を内包している。本展では、「ここで落ち合おう」「一番遠い満月の日」に加え、新作も展示予定。



上:ここで落ち合おう 下:一番遠い満月の日
 各56 × 175 cm (2点組) / 2011
 パネル、和紙、アクリルガッシュ

真坂亮平

MASAKA Ryohei

1980 愛知県生まれ
 2006 名古屋芸術大学大学院 修了
 |主な展覧会|
 2009 「オニガワラウ」トーキョーワンダーサイト TWS-Emerging、東京
 2010 「STAY-常壊荘にて-」常壊荘、愛知県小牧市
 「常滑フィールドトリップ」常滑市内、愛知県常滑市
 2011 「for example」かさはら La La ホーム、愛知県春日井市

推薦者

天野一夫

豊田市美術館

◎ACF2012:静かに置かれたオブジェクトは、眺めるほどにイメージの連鎖を引き起こし、展示空間と空想世界を往来させる。本展では、会場内スペースとガラス面を隔てた中庭とへ、内と外を行き来するインスタレーションを展開。



THREE FANS (部分)
 可変 / 石粉粘土、プラスチック段ボール、写真、
 換気扇、室外機、サーキュレーター、その他